

【財団 HP 掲載用の研究概要】

研究課題名

マンモグラフィと超音波検査の総合判定についての検討

本調査研究は、ちば県民保健予防財団倫理審査委員会の審査結果（承認）を踏まえて理事長が許可をした研究であり、平成 25 年度から平成 27 年度までの期間に当施設の間ドックにおいてマンモグラフィと乳房超音波検査の両方を受診した 40 歳代の女性を対象とします。

この調査研究では、マンモグラフィと乳房超音波検査の両方を受診し別々に判定を行った場合に生じてしまう要精査率の上昇を、両方の結果を総合して判定することによりどの程度要精査率を下げられるかを検討するもので、乳がん検診における不要な精査を避ける事を目的として平成 30 年 3 月 31 日までの予定で実施します。

本研究における個人情報等の扱いは以下の通りです。

1. 本研究はデータのみを収集する疫学研究であり、本研究のために新たに人体試料の採取は行いません。
2. 受診者の皆様の個人情報を削除した上でデータ分析を行います。
3. 研究の成果は学会や学術雑誌等で公表する予定ですが、個人が特定できる情報を公表することはありません。
4. 本研究の主任研究者および分担研究者は、本研究に関して利益相反はありません。

本研究にご自身のデータが利用されることについて、ご同意いただけない場合、またお問い合わせ等につきましては、下記までご連絡ください。

研究責任者

検査部生理機能検査課 梶原崇恵